

KANDA TOWN
OCTOBER 25 2005



こんにちはは議会です

گانだ

No.85

あなたと議会をむすぶ GIKAI.MAGAZINE

9月定例会

JR荻田駅周辺の整備事業に着手
P2~P3

委員会報告 P4~P6

一般質問7人登壇 P7~P14

カメラ見て歩き P17



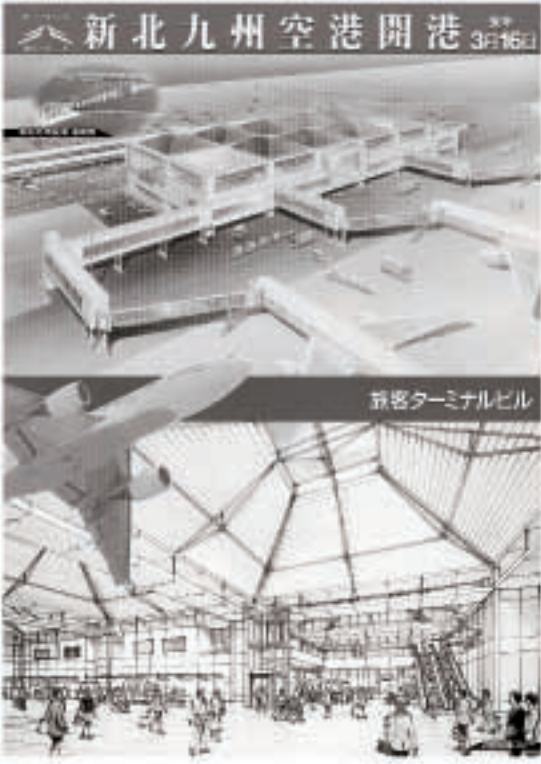
JR苅田駅周辺の整備事業に着手

新北九州空港開港(18年 3月16日)に向けて



急いで進めようとする苅田駅東側

待望の苅田駅周辺整備事業の
第一歩として、東側と西側を
継ぐ自由通路(町道)工事請
負契約がなされた。
今後新北九州空港の玄関口と
して具体的な整備事業が展開
される。



新北九州空港開港 3月16日

新客ターミナルビル



JR苅田駅東口完成予想図

補正予算・条例・工事請負契約 16年度決算の認定など43件可決

9月5日から9月26日まで会期22日間

決算特別委員会報告

平成16年度決算特別委員会委員長

井上 修

●付託案件
平成16年度一般会計ほか13件の決算について、慎重審議の結果認定した。

●主な質疑

- 一般会計決算**
- Q ごみの有料化について。
A ゴミ袋の有料化については、平成18年度に検討し、実施したいと考えている。
 - Q 井場川埋め立てに伴う水域放棄に関する2千万円の支出基準は。
A 県とも協議しながら決定したものである。
 - Q 教育費では、山口分校跡地利用について、どのようになっているのか。
A 平成16年度に、等覚寺地区生涯学習施設基本構想を策定し、基本計画書が本年5月末に出来た。今後、平成18年度事業実施に向けて地元説明を行い理解を得た上で、事業計画地内の地権者と協議し、事業実施に取り組みたい。
 - Q 「空の家」の建物の用地買収はどうなっているか。
A 等覚寺地区生涯学習施設事業の一環として、整備する計画であるが、所有者に譲渡のための協議を早い時期に行いたい。
 - Q 学校施設の安全確保のための耐震調査結果と措置について。
A 平成15年度から3カ年計画で各学校の校舎等の調査を行っている。対象施設は昭和57年度以前に建設された施設で、平成15年度では刈田小学校、与原小学校、平成16年度は南原小学校、刈田中学校を行い、平成17年度は馬場小学校、片島小学校を現在調査中である。調査結果に基づき補強改善を行っているが、今年度で全ての調査が終わる。
 - Q 歳出全般にわたって、予算の流用が多いとの指摘に対しては。
A 予算編成時にヒアリングで十分チェックして望みたい。負担金補助及び交付金の交付規定の未整備なものについては、



委員会報告

総務常任委員会委員長

三原 茂

●付託案件
補正予算
条例改正
規約改正
専決処分

1件
3件
10件
1件

慎重審議の結果、全議案を可決した。

平成17年度菊田町一般会計補正予算(第6号)

- Q 水源開発調査委託料について、調査の目的は。
A 現在検討が行われている、3点の水資源開発のうち、業山池の整備・拡張の検討の為に貯水容量の見込み、「ていほう」の形態について調査をおこなうものである。
- Q また将来的には、総合公園としても利用できないか検討していきたい。
A 水資源開発に関連して、北九州市とパイプを接続した場合工事費は、
- Q 約4億、4億5千万円かかる。
A 菊田町交通安全指導員設置条例の一部改正
- Q 指導員の定数及び委嘱要件の見直しを行うものであるが、定数20名に対して、現状18名と人が集まりにくい原因は、



因は、報酬が年間3万5千円の中、毎月2回の交通指導、そのほか町内の諸行事での交通指導や整理に参加を要請することが多いことが主な原因と考える。

菊田町火災予防条例の一部改正

「消防法」及び「石油コンビナート等災害防止法」の改正に伴い改めるものである。

一部事務組合を組織する地方公共団体数の増減及び事務組合規約の変更9件(京築広域市町村間事務組合、京築地区水道企業団、福岡県自治会館管理組合、福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合、福岡県市町村退職手当組合)

新古宮村と大平村の合併による上毛町及び築城町と椎田町の合併による築上町の誕生で、一部事務組合を構成する

予算編成時にヒアリングで十分チェックして望みたい。負担金補助及び交付金の交付規定の未整備なものについては、

次に歳入全般では、町の収入金について、滞納者対策は、行財政改革の中で取り組み努力しているが、成果が上がっていないとの指摘があった。

要望として
空港対策費で、新北九州空港の開港に伴い、国際交流のあり方を中国との関係も重視し、友好都市の基本を見直しはどうか。

土地区画整理事業特別会計決算
小波瀬土地区画整理事業は、完了しているがこの特別会計は必要なのか。

精算金の徴収が、平成23年度までであり、この間は特別会計で行なう。

奨学資金貸付金特別会計
返済金の徴収努力の内容は、

A 文書による督促や催告、家庭への訪問及び保証人との話し合いなどを行っている。

学校給食事業特別会計



交通安全指導 ありがとう

市町村の数の変更及びこれに伴う規約の変更を行なう議案9件。

菊田町職員定数条例の一部改正

新北九州空港の開港また交通網・交通体系の変化に伴う大規模な事故や災害に対する消防・救急体制の増強をはかるため、消防本部の職員の定数を増加する改正。

専決処分(交通事故による損害の和解)

停車中の公用車に後部から追突されたため、車の損傷について、加害者と和解を行なうもの。

給食費の滞納者が多いが、就学援助制度の周知や持参方式の検討はどうか。
A 就学援助制度については、入学式の時に文書でお知らせしている。

持参方式については、今後

ともPTAや校長会と話し合っていく。
住宅新築資金等特別会計決算
A 地道に集金し、滞納者の実態調査をすべきた。

平成16年度会計別決算額

会計別	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度繰越財源	実質収支
一般会計	14,871,013	12,098,182	2,772,831	356,576	2,416,255
国民健康保険	2,798,528	2,798,528	0		0
老人保健	3,357,367	3,357,367	0		0
介護保険	1,646,914	1,643,463	3,451		3,451
土地区画整理事業	55,977	45,760	10,217		10,217
奨学資金貸付金	27,584	21,568	6,016		6,016
学校給食事業	252,783	252,783	0		0
住宅新築資金等	29,632	29,632	0		0
公園事業	8,218	7,697	521		521
公共下水道事業	1,075,949	1,075,949	0		0
河川整備事業	521,912	521,912	0		0
農業集落排水事業	302,889	293,619	9,270	9,270	0
京都府公平委員会	549	510	39		39
計	10,078,302	10,048,788	29,514	9,270	20,244
合計	24,949,315	22,146,970	2,802,345	365,846	2,436,499

※百円単位を四捨五入のため決算書と差異がある。

委員会報告

厚生文教常任委員会委員長

川上公美子

●付託案件
補正予算
条例改正
事務組合規約の一部改正

4件
4件
1件

慎重審議の結果、全議案を可決した。

平成17年度菊田町一般会計補正予算(第6号)

- Q 老人福祉費で国県支出金1千732万9千円の減少は。
A 養護老人ホーム入所措置費の国県負担が廃止され税源委譲されたもの。
- Q 児童福祉事務費の消耗品費の内容は。
A 保育園、幼稚園及び学童保育所などに不審者対策としてネットランチャーや防犯スプレーを備えるためである。
- Q これら防犯用品の管理や緊急時に使えるように訓練することの要望があった。
A 衛生費では残渣運搬処理委託料は何か。
A 昭和50年頃白石ごみ処理焼却施設の煙突損壊時、処理できなかったゴミを、誤って町有地に隣接する民有地に投棄したものを運搬処理するためである。

他にゴミの大量不法投棄場所は他にないのか、また監視体制はどのようにするのか。
A 現在、そのような場所は見つからない。

監視カメラ設置は果費補助が新設されたが、モラルの問題であり、今後不法投棄に対し、告発も含め検討したい。

菊田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

主な内容は、平成16年度の退職者医療の清算分1千465万5千円を返還するもの。

菊田町老人保健特別会計補正予算(第1号)

主な内容は、平成16年度分の清算で、歳入において国庫補助金の追加交付などがあったため4千444万1千円を一般会計に繰出すものである。

菊田町介護保険特別会計補正予算(第1号)

主な内容は、財政安定化基金貸付金を県支出金から町債に予算の組み替えを行なった

予算の組み替えを行なった

委員会報告

ものである。
 菊田町立公民館の設置
 管理に関する条例の一部
 改正

主な内容は、北公民館の舞
 台装置（スポットライト）の
 設置に伴い使用料の一部を改
 正するものである。

京築地域視聴覚教育協
 議会を設ける市町村数の
 増減及び規約の変更

主な内容は、新吉富村と大
 平村の合併により協議会を構
 成する団体の数の増減及び規
 約を変更するもの。



北公民館

付託案件

補正予算	3件
工事協定の締結	1件
町道路線の認定	1件
工事請負契約の締結	2件

慎重審議の結果、全議案を
 可決した。

平成17年度菊田町一般
 会計補正予算（第6号）

農村グループ活動に補助
 金が出されてきているが、今
 回の農村女性チャレンジ支援
 事業補助金の中身と参加人員
 は。

男女共同参画事業の一環
 で、県の補助事業として平成
 17年度に制度化されたもので、
 稲光地区のイチゴ栽培を行な
 う女性グループに対し補助す
 るもので、現在3名であるが
 今後増やしていきたい。

菊田町公共下水道事業
 特別会計補正予算（第1
 号）

主な内容は、平成18年度よ
 り公営企業法を一部適用する
 ための移行業務委託、会計シ
 ステム開発委託及び浄化セン
 ター実施詳細設計業務委託を
 行なうための補正予算である。
 菊田町菊田臨空産業団

産業建設常任委員会委員長 武内幸次郎



地開発事業特別会計補正
 予算（第2号）

主な内容は、用地の売払い
 収入の増加により町債の繰上
 げ償還のための補正である。
 工事協定の締結につい
 て（菊田駅周辺整備事業
 に伴う自由通路整備に関
 する協定の締結）

主な内容は、菊田駅周辺整
 備事業にともなう自由通路等
 の整備について、工事施工を
 含めJR九州と業務の委託協
 定を締結するもの。

町道路線の認定につい
 て（菊田駅東西線）

菊田駅周辺整備事業により
 設置される自由通路等につい
 て町道認定するものである。
 工事請負契約の締結に
 ついて（菊田臨空産業団
 地E街区、公園、潮溜ま
 り整備工事）
 工事請負費6千340万9
 千5百円で契約を締結するも
 の。

工事請負契約の締結に
 ついて（街路事業菊田駅
 東西線（自由通路）桁製
 作工事）

菊田駅東西自由通路の桁の
 製作で、さびに強いアルミを
 採用し9千132万9千円で
 契約を締結するもの。

東側と西側を繋ぐ自由通路工事が進むJR菊田駅



スバリ

町政を問う！！

9月定例会の一般質問は、13日・14日・15日に7人が登壇しました。

野本 正樹 議員

1. アスベスト処理の対応
2. 動物愛護週間（9月20日～9月26日）犬、猫の避妊の補助金

武内幸次郎 議員

1. 水源対策について
 - (1) 短・中・長期的な施策のその後の経過は
2. 白川小学校身障者用トイレについて
 - (1) 損害賠償請求に対する経過

常廣 直行 議員

1. 交通体系の構想と課題
 - (1) 広域的交通ネットワークの構想
 - (2) 菊田町交通ネットワークの考え方
 - (3) 基幹道路と生活道路の安全対策
2. 「2007年問題」菊田町の対応
 - (1) 菊田町の実態と予想される問題
 - (2) サービスを低下させないための施策
 - (3) 町職員人材育成について
3. 町民参画のまちづくり
 - (1) 地域コミュニティ活性化支援事業について
 - (2) 手づくり町づくり事業について

川上公美子 議員

1. 住み続けられる町づくりについて
 - (1) 総合相談窓口の設置を
 - (2) 真の障害者支援の体制づくりを
 - (3) 利用しやすい介護保険を
 - (4) 防災対策
 - (5) アスベスト対策
2. 入札制度の改善
 - (1) 談合問題への対処を問う

作本 文男 議員

1. 違法行為について
 - (1) 予算が無いのに何故発注契約したのか

梶原 弘子 議員

1. 住んでよかったといえる町づくりをどのようにめざしているのか
 - (1) 談合事件
 - (2) 福祉
 - (3) 教育

小山 信美 議員

1. コミュニティバスの運行について
 - (1) 運行計画の内容
2. 福祉の町づくり事業について
 - (1) 事業の進捗状況



野本 正樹議員

Q 第2のアスベスト問題予防原則を考慮した適切な対応策を

A 主に保健福祉環境事務所がチエックを行う

Q 苧田小学校体育館が立て替えられているが、アスベストの問題はなかったのか。
 A 平成2年に1度調査したがアスベストの含有がないという調査結果を受けて取り壊した。
 Q 各学校、公共施設、全部漏れなくアスベスト調査したのか。
 A 疑わしいところがあった、苧田小学校、与原小学校、苧田中学校、新津中学校は、疑わしいところのサンプルを採取し、検査機関の分析の結果、含有されていないという報告を受けている。
 Q アスベストを使っている民間施設の解体について、例えばパチンコ駐車場等、大きな所はどう指導されるのか。
 A 保健福祉環境事務所が環境保全の立場から、厳しくチエックして、解体時はやり方の基準が定めてあり、指導を十分にやった上で産業廃棄物として処理されるよう対応が取られている。
 またパチンコ屋につきましては、廃棄してからそのままの施設も一部あり、経営者の方と立入調査を行いたい。



動物愛護週間に犬、猫の避妊の補助金
 Q 福岡県は、捨て猫、捨て犬、ワーストに入っている事は知っているのか。
 A 非常に都会に近い所、田舎的な所、そういうところ非常に捨て猫が多いということとは十分知っている。
 Q 北九州は9月20日から26日の動物愛護週間に、犬、猫の避妊を無料でやっているが、苧田町では何かやっているのか。
 A 特に何もやっていない。来年の動物愛護週間の前に、広報なり募集して行政サービスの一環として、犬、猫の避妊補助金を出してはどうか。
 北九州は、今年度の状況は、犬猫の避妊手術の助成は250匹、一匹につき、一万という助成制度で、獣医師会が主催してやっている。厚川町、椎田町、築城町、香春町などが、一部助成している。避妊手術は、ほとんどの市町村が、上限が一万から一万五千くらい補助している。捨て猫、犬を減らすためにも助成金を出したらどうか。
 A 飼い主は望まない不幸な命をふやさないよう努力し、飼育者の義務に努めなければならぬ。動物の愛護、生命の尊重、人と動物の共生面から、ある意味では、これらの避妊は必要であり飼い主として放し飼いななどしないよう、十分注意する必要がある。避妊等に対する補助金については、他の市町村の指導状況などを十分調査の上、検討する。

Q 水資源確保の展望は見たのか

A 苧田町のネックは水問題であり全力でやる

Q 水資源対策として示された短・中・長期的な施策の実現に向けた取り組みの経過と課題について伺いたい。
 A 山口ダムの県からの譲渡、北九州市からの緊急取水・兼山池の拡張がある。まず、山口ダムについては県の農政部で審査は終了したが、土木部段階で国との協議が必要である。北九州市からの緊急取水については町長不在で早急に進めるのは不可能である。兼山池の拡張についてはストックポイントとしての問題点やどの程度の水確保のためにこの池を生かすことができるのかという方法論、ボーリング等を含む地質調査など今議会に1000万円の調査費を計上している。
 Q 基本的なことであるが水不足を解消するために将来的な人口も踏まえ、どの程度の水源確保が必要なのか改めて伺いたい。
 A 将来人口を5〜6万人と設定するならば倍近くは最低でも確保したい。
 Q 山口ダムの譲渡についての問題点として水利権、建設時の補助金等が考えられるが、見通しは。
 A 現在、無償譲渡を受ける手続き中であるが近い将来、県から話しがあるのではと思っている。
 Q 兼山池の拡張に向け、今回、調査費が1000万円計上されているが、今日まで担当委員会にも報告相談もないが議会軽視ではないのか。
 A 具体的に計画をまとめ、問題点を整理し委員会で議論して頂きたい。
 Q 兼山池拡張に向けての調査費は国の補助対象になるのか。
 A 貯水池的な開発であれば補助対象にならない。公園整備の一環であれば補助対象になる。
 Q 今回計上された1000万円の調査費も公園整備の一環であれば補助対象になるのか。又、公園化の意



武内幸次郎議員

見もあり果たして、その場所が適しているのかどうかを調査する。
 Q 拡張後、今川の余水を取水する訳だが源水の基本は良質で安全でおいしい水の確保である。流入水の見込みない所では水の悪化が予想され適切ではない。

「白川小学校身障者用トイレの損害賠償について」
 Q トイレの傾斜に対しての損害賠償に向けての具体的な対応についての結論は出たのか。
 A 傾斜に伴う原因は工事の設計監理を請負った設計業者の責任であると判断し補修費用に係る損害賠償金額を提示したが賠償金額に納得できないとのことで上申書が提出され話し合いを行って来たが進展が見られず法的措置を取ることにする。



兼山池(与原地区)



常廣 直行議員

交通ネットワークの早期確立を急ぐべきではないか

A 国、県、苅田町としても整備を推進する

Q 来年3月以降、苅田町の交通体系が大きく変化し、交通渋滞や生活道路への影響が心配されるが、その交通対策は。

A 主要幹線道路の整備、近隣市町村との一体化等、国、県、苅田町も、整備を推進している。

Q 空港開港に伴い、どれくらいの交通量が予想されているのか、具体的な対応策があるのか。

A 交通量推計は平成12年で1万7千400台。臨海工業線は日産の前まで整備が進んでいる。201号バイパスは今から取り掛かる。はっきりとした段階ではないが沿岸道路も考えている。

Q 生活エリアのと真ん中を通る40m6車線道路で分断されてしまうエリアはどれくらいあるのか。対策は。

A 住民の意見を聞きながら、一緒に調整していく。

Q コミュニティバスの導入をきっかけに地域交通ネットワークを構築する必要があるのではないか。

A 交通体系の一端として交通不便地域の解消、利便性の向上を目的としたコミュニティバス事業を具体的にしていこう。

Q コースがたびたび変更されるというのは、地域交通ネットワークの基本論議が十分ではないのではないか。

A 不足しているかも知れないが、本格運行に向けて解決していく。

Q 第3次総合計画の中の地域内交通ネットワーク整備の進捗状況は。

A 残念ながら、今の段階では計画は作成していない。

Q 苅田の交通体系を考えた中で、小波瀬駅の結節点が必要になってくる。早期に移転計画を作るべきだと思うが。

A 苅田駅にまず目鼻をつけて次は小波



苅田北九州空港インターチェンジ

瀬駅にと考えている。

Q 安全に歩く空間が大切にされている中で、苅田小学校前の通学路の側溝ふたの破損や、与原小学校、新津中学通学路の街路樹、歩道の管理状態を伺いたい。

A 苦情等があれば、行っている。事故のないよう整備をする。

Q 団塊の世代が引退する2007年、町民税の減税や老人介護医療の増加、福祉サービスの低下等が懸念されるが対応策は考えているのか。

A 高齢者が退職しても地域に役立て健康が維持できるような福祉サービスの充実に努める。

Q 役場の対応も組織体質の改善、職員の計画的育成等、この時期に急がれると思うがその対応は。

A 再雇用枠の拡大や計画的な新規採用、優秀な人材に中途採用を考慮する。

Q 苅田町職員はここ10年でどれくらい入れかわるのか。

A 約80名程度退職していく。臨職、パートの優秀な方の採用も考えているのか。

A 今後考えていく。中途採用も増やさなければならぬと考えている。

Q 地域コミュニティ活性化事業と手づくりのまちづくり事業の進捗状況は。

A 町民の関心が非常に高く、町民主導の町づくり実現に期待をしている。

Q 二つの事業は類似しているが、この取組みの違いはどうか。

A 小さい分野での活動が将来的に校区単位のコミュニティ活性化支援事業へ移行できる。



川上公美子 議員

A 近日常に総合相談窓口の設置を

Q かんた女性ホットラインの電話相談の数はどのくらいか。

A DV（夫や恋人、パートナー等から女性に向けられる暴力）が21件、セクハラが2件、夫婦問題が20件その他が16件で合計61件である。

Q 電話がつながりにくく聞にあわない状況である。男女共同参画宣言都市にふさわしく相談窓口の人材確保はいつ頃になるのか。

A 事業担当課は県の保健福祉環境事務所に相談に行き、保健事務所長も来庁、実態を話し、よい方を紹介していただけの予定である。

Q 一日も早い配置を、待っている。

A 総合相談窓口、消費相談窓口は、場所を確保してプライバシーを確保すべきである。

A また、たぐさんの障害者の反対で国会の解散時廃案となった障害者自立支援法では、

くすの木作業所に通所し続けられるのか。

A 急激な負担増を避けるため軽減措置もあるようだが法案が成立してからになる。

Q 今まで自立して頑張ってきた人達が自立し続けられるよう町の軽減策は。

A 法案の通過後、検討する。

Q 介護保険の特定入所者サービス制度の低所得者対策は申請しないと受けれない、町としての対応は。

A 特養、老健、療養型の入所施設を利用しているショートステイには町から本人に直接通知している。

Q 介護保険サービスは、憲法25条に基づいて、社会福祉事業そのものである。この趣旨、目的に則して公的責任を

「かんた女性ホットライン」は、女性のためのダイヤルです。

ひとりで悩まないで!!

092-741-7140

毎週木曜日/午前10時から午後5時
TEL:092-741-7140 FAX:092-741-7141

地方自治体が果たすべきである。災害対策については、台風14号の時も、自主避難者がふえている。公民館の避難場所は、畳が多くバリアフリーではない。又高齢者に必要ならフォームをすすめる悪徳業者が出没している。安心して住み続けられるため、

町内業者が住宅改修し町が助成する制度は作らないのか。

A 近隣市町村を参考に研究、検討していく。

Q 学校や生涯学習のアスベストの点検はどのようにしているのか。

A 設計図書や素材を一般建築士がチェックし、不明なところはサンプルを専門の検査機関に送っている。

Q 保育所7園はほぼ大丈夫だということだが幼稚園はどうか。

A 早速幼稚園を調査する。入札制度の改善を

Q 現場説明を復活してほしいという意見もあるが。

A 複雑な工事を行っている。



作本 文男議員

「用之則行、舍之則蔵」

（これをもちうれば、すなわちおこない、これをすつれば、すなわちかくる）

やめるのか、等々色々な噂話
が飛びかっている。
ここで私は伊塚町長を孔子
の論語わずか8文字の言葉を
もつていさめなければなら
ない。その言葉とは「用之則行、
舍之則蔵」これをもちうれば、

民の代表として、代弁者とし
て、非常に残念である。
孔子は2500年前の人で
ある。人間社会の処世進退は
今も変わらない。

だからこそ、我々は歴史に
学ばなければならぬ。
今回の事件に対し町田町議
会が責任をどう果して行くの
かも考えて行きたい。

9月議会的一般質問を行う
が残念ながら伊塚町長は出席
していない。私は伊塚町長が、
席に座っていると考え、私の
最近の町政に対する考え方や、
政治家としての身の処し方又
ついて述べてみたいと思う。
伊塚町長は幾度となく私の
演壇での意見の披露に対して
「当意即妙」に答えてくれた。
豊富な知識を持たれた証拠
だといつも感心していた。
伊塚町政を省みると、最大
の功績はやはり第一次行政改
革をなしたとことだと思ふ。
周辺の市町村が国の進める
「三位一体」の改革でどうし
ようもなく行政改革に

取り組もうとしている、それ
以前の平成14年度までに、改
革をやりとげたことだ。
又財政的な基盤を背景に合
併せず単独でやっていくとい
う一定の方向を見出す事が出
来たのも大きな功績だと思ふ。
伊塚町長は私の議会での発
言行動に対しては孔子の論語
から引用され「天の時、地の
利、人の和」などの言葉をも
つて私をいさめたこともあつ
た。
ただしかし今回の一連の事
件、これに対する町長の身の
処し方はいだけない。
町民の大多数の中で、町長
は今どうしているのか、いつ

すなわちおこない、これをす
つれば、すなわちかくる）
具体的に言えば町長は町民
から選挙により起用されれば
町民のために懸命に働む。し
かし町長として町民から見
なされたら、すなわち必要で
なくなったら深く出処進退を
明らかにして、かくれるべき
である。この言葉を町長に申
し上げたい。
ある前途有望な若い職員が
私にふとももらした一言「町長
は、べつにおらんでもいいで
すね。」は、非常に象徴的な
言葉である。笑いごとではす
まされない、今の町田町の置
かれていた状況だと思ふ。町



町長不在の議会

Q 学校に空調設備を つけるべきだ

A 学校の環境整備は 非常に大切



梶原 弘子 議員

教育委員会は教室の温度
を調査し教室温度は高く30℃
を超える状況がわかった、そ
こで順次空調については今後
整備していく、今年度は図書
室に空調設備を導入した、各
教室の空調は今後の課題。町
内150教室が対象設置、維
持管理に高額を要するが、ま

地球温暖化にむかい近年
夏の気温が高い。教室の温度
が35℃や37℃など30℃以上あ
ることが調査でわかってい
るが、文部省の基準では教室内
は30℃以下となっている、教
育審議会などで制度をいじる
より子ども達が適した環境の
中で学習できるようにできな
いか、国の冷暖房補助金は音
楽室、家庭科室、図書室、職
員室、校長室、保健衛生室、
コンピューター室等にはつく
が普通教室にはつかない、子
ども達が一日の大半を過ごす
だからこそ町独自の予算をつ
けられないか、体温調整がむ
つかしい障害児や年々増えて
いるアトピーの子ども達は夏
の高温は大変だ。運動会シー
ズなど特に汗まみれ、砂ま
みれの中シャワー設備を望む、
学校でも「排便」が出来るよ
うきれいなトイレ他、学校で
の全面禁煙など環境を整えて
ほしい。

臨空産業団地の造成工事
でおきた談合事件、町民に不
審感をもたせたが、反省や改
善など今後の対策や計画は。
非常に残念に思っている、
可直の手で調査等が行なわれ
ているので内容は控えたいが、
昨年の10月から最低価格を66
%から85%の間で設定し入札
談合情報に対しては速やかに
対処、対応することが最善の
策と考えている。

国民の命のよりどころであ
る国民健康保険税について
国民皆保険が前提の保険、
農林水産業者や自営業者、高
齢の退職者、失業者であつて
も国保に加入できるが、国保

80年代以降国保への国の負
担が減らされた今、収納率向
上のため制裁措置も導入され
ているこのような中、国保の
行きづまりは滞納だけにある
のか、国保会計が赤字の自治
体は早期発見や病気になるか
らない施策に力を入れている、
町民検診の受診数などもっと
丁寧な分析を求め、検診結
果をみて食生活や運動などの
指導はできないか。

国保の行きづまりは平成
15年の制度改正で前期高齢者
が加入したため、糖尿病、通
風、高脂血症等の予防教室を
開いている。



健康づくり特別講演会

入スタート 生活習慣病予防」
中津市民病院 院長 松殿 幸 先生



南原小学校



小山 信美 議員

Q 臨時議会の後、運行協議会が行われたのか。
A 運行協議会は10月をめどに設置したい。
Q 最初は3ルートではなく5ルートあったのではないのか。
A 5ルートあったが国の車両制限令により陸運局と協議した結果、3ルートを先行させた。

Q 幼稚園の送迎バスや自動車学校のバスは支線ルートを通れるのに小型バスはなぜ通れないのか。
A お金を取らない白ナンバーに対しコミュニティバスは

乗合い営業バスの緑ナンバーなので車両制限令にふれるので通れない。
Q 風速60mまで大丈夫といわれたバス停が今回は風速22mで倒れた。今後の安全性はどのようにしていくのか。
A 台風等も考え小型で下には35kgの重しをつけたが倒れた。今後の安全に十分努めた。

Q 支線2ルートの実証運行はまだできていないが4月からの本格運行はするのか。
A 支線ルートの実証運行はすべきた。早期導入を図りたい。

Q バス停の乗り継ぎポイントにベンチ等は考えていないのか。
A まだ考えていないが待ち合わせの時間がかかると予測されるので何らかの対応をしていく。

Q バス路線の乗り継ぎポイントがわかりにくく、時刻表

も利用しにくい。もっと気配りのあるものに出来ないのか。
A 来年4月の本格運行までには気配りのあるものにしていきたい。

福祉のまちづくり事業の進捗状況

Q 刃田町福祉のまちづくり事業整備条例は県の採択はいつで、担当課にはどのように伝達したのか。
A 採択は9月初めで総合政策課が口頭で説明し、様式はメールで各課に送った。

A 施設建設課は郵便局の前と新開公園の設備、生涯学習課は中央公民館、図書館、体育館のトイレ改修工事、三原文化会館の玄関及び階段の改修工事、総務課は庁舎2階のトイレ階段の手すり等それぞれ設計手続き中だが年度内に終わる予定である。
Q 窓口一本化による事業の遅れは役場組織の問題があるのではないのか。
A とりま総合政策課が指示をしながら担当課との意志の疎通を徹底していきたい。



コミュニティバスの実証運行について問う A幹線に継ぐ支線2ルートの早期開始を目指す

第4回刃田町議会(臨時会)

- ◆平成17年度か一般会計補正予算(第5号) 1件(可決)
- ◆平成17年度か一般会計補正予算(第3号) 2件(可決)
- ◆平成17年度刃田町水道事業会計補正予算(第2号)
- ◆平成17年度刃田町一般会計補正予算(第4号) 1件(可決)
- ◆財産の取得について(コミュニティバス購入) 1件(可決)
- ◆監査委員の選任について 議会選出の監査委員に武内 幸次郎氏を選任した。



武内 幸次郎 議員

議会の各委員会の構成が変わりました

委員会制度は、今日の社会経済の進展に対応して、行政が著しく多様化、専門化する中、審議の実を挙げるためそれぞれ専門部門別に審査を分担するものです。
 新しい任期は平成17年10月15日から平成19年10月14日までです。

- 総務常任委員会**
 委員長 白石 壽幸
 副委員長 常廣 直行
 委員 光永 信雄 梶原 弘子
- 産業建設常任委員会**
 委員長 井上 修
 副委員長 作本 文男
 委員 野本 正樹 坂本東二郎 武内幸次郎 林 繁実
- 厚生文教常任委員会**
 委員長 小山 信美
 副委員長 松藤日出美 長井 孝篤 川上公美子

- 民生部、教育委員会の仕事に関する事項**
 委員長 林 繁実
 副委員長 野本 正樹
 委員 長井 孝篤 川上公美子 坂本東二郎 作本 文男 武内幸次郎
- 次期議会の会期日程等議会の運営に関する事項について**
 議長 長井 孝篤
 議長 武内幸次郎

- 空港問題の調査研究について**
 委員長 井上 修
 副委員長 川上公美子 武内幸次郎
- 空港建設とアクセスの整備促進について**
 委員長 武内幸次郎
 副委員長 林 繁実
- 下水道対策特別委員会**
 委員長 作本 文男
 副委員長 常廣 直行 松藤日出美 野本 正樹 梶原 弘子 坂本東二郎 林 繁実

- 下水道(含む「都市下水道」)問題の調査研究について**
 委員長 白石 壽幸
 副委員長 光永 信雄
 委員 梶原 弘子 作本 文男 武内幸次郎 井上 修 常廣 直行 小山 信美
- 合併問題の調査研究について**
 委員長 武内幸次郎
 副委員長 井上 修 常廣 直行

- 入札制度改善対策特別委員会**
 委員長 梶原 弘子
 副委員長 作本 文男 野本 正樹 武内幸次郎 井上 修 林 繁実
- 入札制度改善のための調査研究について**
 委員長 武内幸次郎
 副委員長 井上 修 常廣 直行 林 繁実

意見書3件

- 分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書 (可決)
- 低髄液圧症候群(脳脊髄液減少症)の治療推進を求める意見書 (可決)
- 全頭検査による万全なBSE対策の継続を求める意見書 (可決)

人事案件

教育委員会委員に高橋 登美雄氏を任命することに同意した。
 京都郡郡公平委員会委員に白水 孝大氏を選任することに同意した。

二十世紀のエコデンをめぐって エコデンレースin河田開催報告

チームかんだ 柴田 徳夫



河田町合併50周年記念行事。去る9月11日、残暑厳しい中、河田町日産自動車九州工場正面ゲート特設コースで、高校生、大学生、社会人による手作り電気自動車（エコデン）レースが開催されました。ルールは簡単で（大阪エコデン大会ルールに準ずる）当日支給された手のひらサイズの12ボルトのバッテリーを用い、人が乗り、1時間にコースを何周できるかの周回を競うもので、パイプを簡単に曲げた改造

したユニークなものから、本格的な超空力マシンまで、多種多様な20台が出走。当然電気自動車なので無音に近い。微妙なコントロールのためパワーは回転スイッチとしてるのが特徴。マシンは究めてスリムで、ドライバーが寝た姿勢でも視界が確保されるようにシールドが大きくて広い。

どのチームも自信にみながら手作りの「ボディスタイル」で空気抵抗、車体の軽量化、動力の伝達方法、運転技術、無線連絡の交信が微妙に成績に響く。

優勝したのは、チームかんだのチームH1号で、30周を走行し、平均時速は21kmでした。つまり、1円以下の充電料金で、なんと21kmも走る経済性なのです。

私達は、平成17年をエコデン元年と位置づけ、2回目を平成18年に開催したいと意欲

エコデンレースin河田結果一覧

特注品モーター部門				
順位	チーム名	車種名	周回	タイム
1	チームカnda	H-1	30	1:00:23
2	チームカnda	T-3	26	0:57:18
3	豊田学園高等学校自動車部	警-ZERO	26	1:00:33
4	福岡県立八女工業高等学校	エコライン	25	0:59:40
5	福岡市立博多工業高等学校	博多工業高等学校A	25	1:01:35
6	西日本工業大学	西工大NSX	21	0:56:30
7	大阪府立利泉高等学校定時制	EKO DREAM WZ	21	1:01:10
8	宮崎県立日向工業高等学校	日向E-01	19	1:00:00
9	福岡県立八女工業高等学校	KAMIKAZE	18	0:57:18
10	福岡市立博多工業高等学校	博多工業高等学校B	18	1:00:54
11	福岡県立八女工業高等学校	エコラインII	17	1:00:15
12	福岡県立立田工業高等学校教員チーム	KAREN号	17	1:00:52
13	宮崎県立都城工業高等学校	黒髪島	16	0:34:25
14	福岡県立河田工業高等学校	虹(レインボー)	12	0:37:41
15	鹿児島情報高等学校	Speed Max	12	0:58:57
16	福岡県立田川工業高等学校	グリ	9	0:42:20
17	日本EVクラブ九州支部	エミーリエ号	3	0:16:06

ワイパーモーター部門				
順位	チーム名	車種名	周回	タイム
1	株式会社 新西商会	challenger	4	0:47:53
2	北陵高等学校	HOKURYO-03	3	0:14:29

的に思っています。福岡県のご支援と河田町の助成をいただき、各自動車メーカー及び関連産業の集積一大ゾーン河田町として是非コラブレイトしたい。さらに九州で唯一の次世代若者育成プログラムとして、加えてエコの社会的参加による事例研究研修として、その果たす役割の大きさに力が入ります。

特徴のある他に類のない集団としてエコデン活動を進めていきたいと念じております。どうぞ皆様のお力添えをよろしくお願い致します。自由入会ですので、興味のある方はTEL24・5056（柴田電

気)まで、ご連絡ください。おわりに河田町合併50周年並びに、日産自動車開業30周年に対して、心よりお祝い申し上げます。加えて町づくりの中途にして天国へ召された伊塚町長に心よりご冥福をお祈り申し上げます。

最後にレースに関係されぬまじった皆様へ感謝いたします。厚くお礼申し上げます。報告に変えさせていただきます。



日産自動車賞 / 宮崎県立都城工業高等学校 50周年記念賞 / 鹿児島情報高等学校

おとがき

伊塚工(いづかたくみ)町長が10月5日に死去されました。生前、町政発展に貢献され、ここに哀悼の意を捧げるとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

▼議会報告第85号は、平成17年第5回定例会(9月議会)と平成17年第4回臨時会合の審議内容、さらに平成16年度決算認定、一般質問などについて編集しました。前84号では誤記があり次のおり訂正させていただきます。今後充分注意し、心からお詫び申し上げます。

▼訂正箇所
表紙「7月定例会」を「6月定例会」へ、3頁片島地区汚水処理場建設工事の総汚水量:「4,133 m³/日」を「338 m³/日」へ及び19頁カメラ見て歩きの中「新津小学校」を「新津中学校」へ訂正させていただきます。

議会広報特別委員会

委員長 光永信雄
委員 小井作 山本信
委員 井原弘 文弘修
委員 光永信雄 山本信 井原弘 文弘修